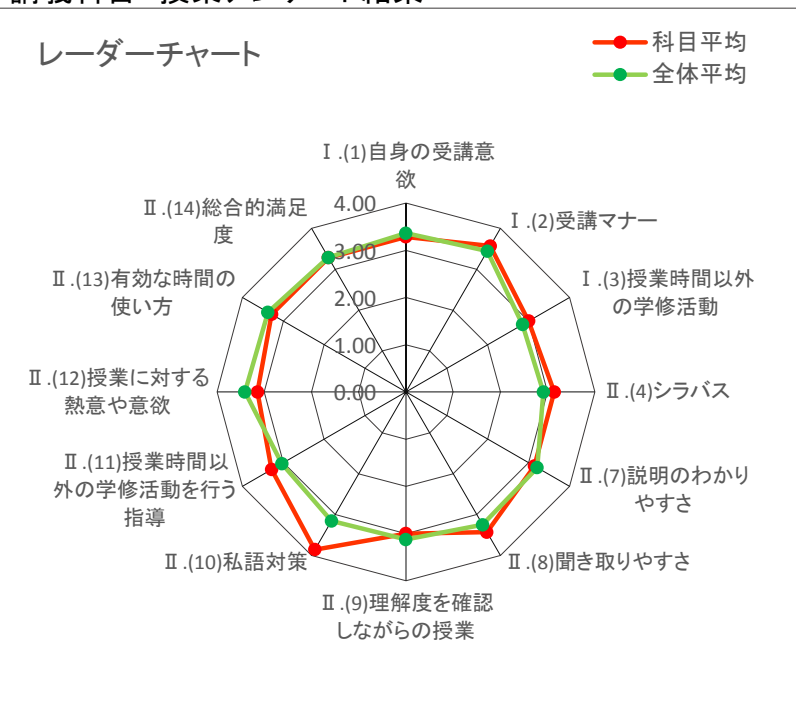
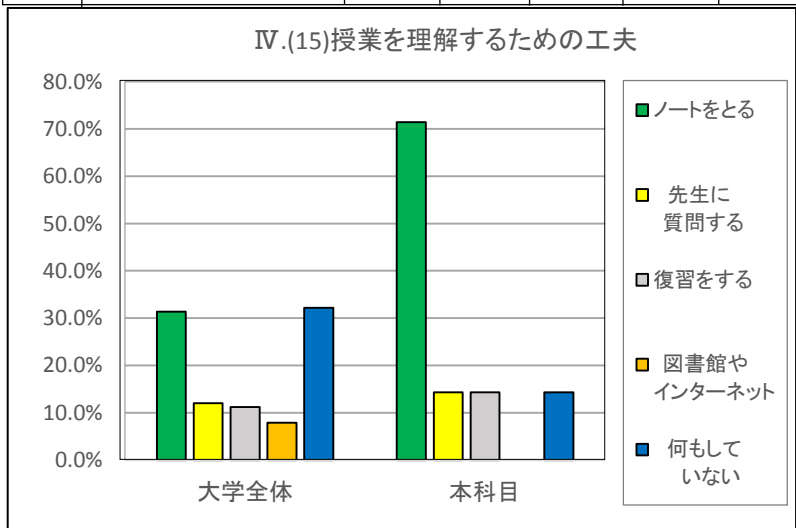


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2.(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	71.4%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 前期
時間割番号	44304
科目名	企業と法律 I
教員名	

①授業計画の達成度について

授業はシラバス記載の授業計画に従って行います。授業では、法律の条文解釈を丁寧に行い、制度がどのように運用されているのかを具体的に理解するため、講義の中で判例解説を織り込みながら進めています。授業の目的や法律を学ぶ基本的な姿勢を教えるようにしています。計画は、すべて予定通りに行っています。受講生の回答を見ると、受講マナーおよびこの授業に対する受講の意識は高かったとする学生が多数います。授業に対する取組みは積極的であるということが出来ます。

②授業の進め方について

企業と法律 I は、会社法の前半部分です。法律学の学習は、条文解釈、学説・判例が基本です。条文を学生に音読させ、判例の理解を促進するために、事実関係を図に表す練習をさせます。適量な声で明瞭に講義します。私語は皆無です。授業中に学生に条文を読ませたり質問するので、自ずと積極的な授業への取組みになります。授業に対する満足度は平均的です。また授業に対する意識は高いが、説明が理解できないとする自己評価があります。授業中に練習問題をさせることがありますが、判例の図説と同様に、積極的に取り組めていない受講生がやや多いこととも関連があるようです。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

積極的な授業への取組みと意欲向上を目的として、条文の音読をさせたり質問を多くすることで、理解を促進できていると考えます。授業態度は、全体的にまじめな学生と、私語はしないが講義を聴いている様子がないと思われる学生に大別できます。私語する者は皆無ですから、対策は全くしていません。該当の回答は少し理解を間違えていると思われます。授業中学生に質問することが多く、時間中に練習問題をさせるときは、かならず巡回して解答の様子を見ますので、理解を確認しながら授業を進めるという項目に対する回答もやや疑問があります。

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.29	3.36
	I.(2)	3.57	3.45
	I.(3)	3.00	2.86
受講内容・方法	II.(4)	3.14	2.91
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.14	3.21
	II.(8)	3.43	3.25
	II.(9)	3.00	3.13
	II.(10)	3.86	3.16
	II.(11)	3.29	3.04
	II.(12)	3.14	3.41
	II.(13)	3.29	3.37
満足度	II.(14)	3.29	3.29

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.29	3.22
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.29	3.18
II.(4)~(13)		
総合的満足度	3.29	3.29
III.(14)		